地域の食生活改善と郷土食の伝承に力注ぐ

中軽米こう子さん 畠山 貴美子さん

平成28年度県公衆衛生功労者等表彰受賞

平成28年度県公衆衛生功労者等表彰式が12月1日、いわて県民情報交流センター・アイーナ(盛岡市)で執り行われ、中軽米こう子さん(67)が公衆衛生功労者県知事表彰を、畠山貴美子さん(70)が県食生活改善推進員団体連絡協議会長表彰を受けました。本表彰は、公衆衛生分野で長年にわたり活動を行い、功績のあった個人・団体を顕彰するものです。

2人は、市内において食生活改善の普及を図り、市民の健康増進に寄与するとともに、郷土食の伝承にも尽力してきました。表彰を受けたことについて「私たちの取り組みに理解を示していただき、共に活動を続けてきた皆さんのおかげです」と、感謝の気持ちを述べました。

松川一の宮太鼓はな組が準優勝 日本ジュニアコンクール出場へ

松川一の宮太鼓(遠藤一子会長、会員約90人)は28年11月27日、酒田市民会館(山形県)で行われた第5回東北太鼓ジュニアコンクールに出場し、準優勝に輝きました。

参加したのは、市内小・中学校の児童・生徒で構成された「はな組」のメンバー13人。3月19日(日)に神戸国際会館こくさいホール(兵庫県)で開催される日本ジュニアコンクールへの出場権を獲得しました。同会が全国大会へ出場するのは今回が2度目。はな組のキャプテンを務める三浦陸君は「東北大会で準優勝した時は、言葉が出ないくらい驚きました。これも先生方の指導のおかげです。全国では優勝を目指して頑張りたい。そして八幡平市を活気付けたい」と意気込みを語ってくれました。

同会は、ことしで結成30周年を迎え、次のとおり記念演奏会(入場料無料)を開催します。 ■期日・場所 2月11日(土) 祝、姫神ホール(盛岡市) 詳しくは、松川一の宮太鼓(☎74・2025)まで。

はな組出場メンバー(敬称略)。前列左から伊藤亜紀、佐々木輝龍、三浦陸、本堂諒及、澤尻月護、伊藤綾海、後列左から渡辺瑛大、田村京珠、本堂音華、山田姫桜来、佐々木夢歩、上山漣司。指導陣は林下亜実、工藤美智子、遠藤一子、遠藤幸太、佐々木さやか。写真提供：松川一の宮太鼓

県卓越技能者(写真工) 八幡富士男さんに表彰

昭和24年生まれ。平館高校卒業後、写真師としての道を歩み始める。写真師歴50年。八戸市での修行と群馬県で勤務後、家業の写真館経営(八光スタジオ)を継ぐ。スタジオ撮影や婚礼写真などに優れ、全国の若手写真館経営者を指導してきた実績が認められ、28年度県卓越技能者として表彰を受ける。

平成28年度県卓越技能者表彰式が11月28日、サンセール盛岡(盛岡市)で執り行われ、八幡富士男さん(67)が、写真工の卓越技能者として、表彰を受けました。本表彰は、広く社会一般に技能を尊重する気風を浸透させ、技能者の地位および技能水準の向上を図ることを目的として、県内において極めて優れた技能を有し、他の技能者の模範と認められる者を県が表彰するものです。

●撮影の時に心掛けていることは？
撮影の基本姿勢は「品良く撮ること」。今は昔と違って、携帯電話やデジタルカメラなどで誰でも気軽に写真を撮れる時代になっていますが、1枚1枚に精魂を込めた写真とそうでないものは、明らかに違いが出てきます。若い時からこの姿勢や写真に対する思いは変わっていません。

●写真師としての信条は？
努力をすればチャンスはいつか来る。苦勞した分だけ報われる。そう信じて写真に取り組んできました。20代の時、東京で写真について学んでいると、同年代の人たちの熱意に圧倒されました。それをきっかけに努力を重ね、貪欲に挑戦し続けていたら、たくさんの素晴らしい機会に恵まれました。写真はタイミングが重要。絶妙なタイミングというのは、努力していれば必ずやってきます。

●今後について
これからも写真で挑戦したいことがまだまだあります。若手から刺激を受けつつも、模範となるよう努力を続けていきます。

株式会社北館製麺 (写真左から) 畠山寛志総務部長、北館充史代表取締役社長、品質保証担当、包装スタッフの皆さん

吉田 次男さん 株式会社北館製麺 平成28年度県食品衛生関係表彰受賞

平成28年度県食品衛生関係表彰式が11月29日、ホテル森の風鷲(雫石町)で執り行われ、食品衛生功労者として吉田次男さん(64)が、食品衛生優良施設として株式会社北館製麺が県知事表彰を受けました。

吉田さんは、市内で飲食店営業や食堂運営を行うかたわら、市内飲食店などを対象に食品衛生に関する指導を38年間継続して実施。北館製麺は、食品の安全性確保のための手法に基づき、徹底した品質管理を長年にわたり実施し、他の模範となることがそれぞれ評価されました。受賞について、吉田さんは「今回の受賞を糧に、より一層食の安全・安心について地域貢献していきたいです」。北館社長は「社員一丸となつて日頃努力している姿が表彰につながりました。表彰に恥じないよう、お客様の信頼に応えていきたいです」と、思いを新たにしました。

ひたむきで、一途に、安全・安心な食の環境づくりを